

正倉院 THE SHOW

感じる。いま、ここにある奇跡

2025年
6月14日(土)～8月24日(日)

大阪歴史博物館



「正倉院という物語」を歩き、 1300年の奇跡に触れる。

世界的に稀少な品々が約1300年の時を経てなお良好な状態で伝えられている正倉院とその宝物の奇跡を、これまでとは異なる新しいアプローチで「感じる」「楽しむ」展示イベント「正倉院 THE SHOW」が、宮内庁正倉院事務所監修のもと、大阪・関西万博を機にスタートします。

今なお色あせることなく、輝きを放つ宝物——それは時代を超え、人の心と手を通じて、脈々と受け継がれてきました。本展では、「愛 美 紡ぐ」の3つの視点から、正倉院1300年の奇跡の物語を紐解きます。

最新のデジタル手法を駆使した展示を行うのも本展ならではの。宝物を360度からスキャンして取得された高精細な3Dデジタルデータに演出を施した展示を行い、宝物の細部や質感をリアルに感じていただきます。また、正倉院事務所が研究・製作を進めてきた「再現模造」を映像・音楽・照明との組み合わせで展示することにより、正倉院との新たな出会いを提供します。

さらに、ファッションデザイナーの篠原ともえさんをはじめとする現代アーティストが正倉院からインスピレーションを得て生み出した新作も紹介します。

会場内は、フォトスポットに限らず写真撮影およびSNS投稿が可能。気鋭のクリエイター陣が言葉や空間の演出を手がけた、まさにショーとしての華々しさに彩られた展示イベントです。

「正倉院 THE SHOW」実行委員会

監修者ごあいさつ

この度、「正倉院 THE SHOW」が開催の運びとなりました。奈良、東大寺旧境内にある正倉院は、9000件もの宝物を1300年近く地上で守り伝えた、まさに“奇跡の宝庫”です。毎年秋には正倉院展が開かれていますが、今回は、この実物の観覧とは異なるアプローチ、すなわち最新のデジタル技術を駆使した手法で、皆様が体験したことのない、宝物の楽しみ方を提案させていただきます。宝物の価値をより深く味わい、皇室のかけがえのなさや伝来を支えた人々の想いなどにも触れていただく機会になれば幸いです。

宮内庁正倉院事務所長
いいだ たけひこ
飯田剛彦



「愛 美 紡ぐ」を3大テーマに、 「正倉院という物語」を歩く展覧会です。

聖武天皇への、光明皇后の想いから始まった正倉院とその宝物。これらは「残したい」と願う人々の手によって守り伝えられ、1300年の時を経た今も色あせることなく、輝きを放っています。本展では宝物誕生から現在に至るまでの奇跡の物語を、「愛 美 紡ぐ」の3つの視点から紐解きます。

愛

愛のかたち、愛のちから。

正倉院の物語は、光明皇后の想いから始まる。聖武天皇への愛、そして、この国に生きる人々への愛。その願いは、時を超えて、今を生きる私たちの心をも揺さぶる。

美

美は、時として言葉以上に語る。

シルクロードを経て集められた品々は、今もなお、唯一無二の輝きを放っている。正倉院の宝物が持つ美しさは、1300年の時を超えて私たちの心を魅了し続ける。

紡ぐ

受け継がれる意思、紡がれる未来。

正倉院の守り人たちの「残したい」という想いは、時代とともに、担い手を変えながら、今日まで途切れることなく続いている。この連鎖は、未来へとつながっていく。

3Dデジタルデータ 漆金薄絵盤(うるしきんばくえのばん)
撮影および計測:宮内庁正倉院事務所・TOPPAN株式会社





模造 紅牙撥鏤尺(こうげばちるのしゃく)

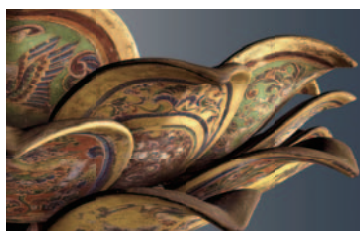
展示の見どころ ①

最新のテクノロジーを用いた高精細な3Dデジタルデータで 宝物の細部や質感をリアルに紹介します。

宝物を360度からスキャンして取得された高精細な3Dデジタルデータに演出を加えた映像を大スクリーンで上映。肉眼では捉えにくい宝物の細部や質感も詳細に紹介し、没入感のある空間で宝物美の世界を深く味わっていただきます。

「3Dデジタルデータ」とは

正倉院宝物の「3Dデジタルデータ」は、最新の3次元計測や高精細写真撮影、質感取得技術を駆使して作成された精緻なデジタルアーカイブです。宮内庁正倉院事務所とTOPPAN株式会社は、2019年から螺鈿紫檀五絃琵琶をはじめとする宝物のデジタルアーカイブを実施。本展では選りすぐりの宝物の3Dデジタルデータを活用し、通常の展示室の環境では肉眼で捉えづらい細部や質感までも克明に再現し、単眼鏡を使わずとも宝物に包まれるような臨場感あふれる鑑賞体験を提供します。



3Dデジタルデータ 漆金薄絵盤 撮影および計測:宮内庁正倉院事務所・TOPPAN株式会社

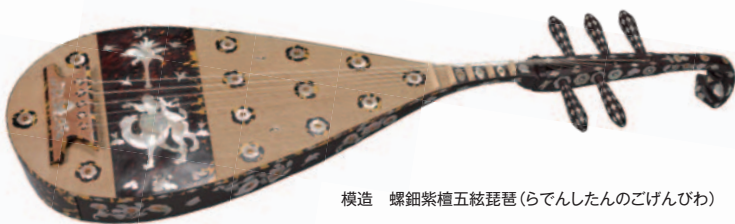
展示の見どころ ②

「再現模造」を最新のデジタル制御による 映像・音楽・照明との組み合わせで展示します。

宮内庁正倉院事務所が研究・製作を手がける再現模造からは、宝物が高度な技術を駆使し、精緻に作られていることがよくわかります。再現模造展はこれまでに何度も開催されていますが、本展では最新のデジタル制御による映像・音楽・照明との組み合わせで再現模造を展示することにより、新たな鑑賞体験を提供します。

「再現模造」とは

正倉院宝物をもうひとつ作ること——それが正倉院事務所の目指す再現模造です。1972年に開始された模造事業では、単に見た目を似せるのではなく、各種の分析装置や光学機器を駆使して当時の素材や技法を探り、時に試作を繰り返しながら、宝物本来の姿を再現することに努めています。現在までに作られた再現模造は50件。今回はそのなかから聖武天皇ご遺愛の琵琶や肘つきなど、たぐいまれな出来映えを示す宝物の再現模造が出陳されます。



模造 螺鈿紫檀五絃琵琶(らでんしたんのごけんびわ)



STAGE02 映像イメージ

気鋭のクリエイター陣が言葉・音楽・空間を演出、 宝物の新たな楽しみ方を提案します。

コピーライター^{うめだ さとし}の梅田悟司氏が紡ぎ出した詩的な文章が「物語」を彩ります。空間デザイン、グラフィックなども気鋭のクリエイター陣が担当。宝物の美を活かし、物語世界に浸れる演出に取り組めます。

現代アーティストが正倉院からインスピレーションを 受けて手がけた新作もお披露目します。

現代でも色あせることのない正倉院宝物の美が、アーティストとのコラボレーションにより、新たな魅力を創出します。幅広いジャンルで活躍する現代アーティストが、正倉院にインスピレーションを受けて制作した新作を展示します。

コラボレーションアーティスト

ファッション × 宝 物

正倉院宝物がもつ「今に通じる美」に着想を得、
伝統と現代とを融合させた服飾作品を創造します。



篠原ともえさん
(しのはら・ともえ)
デザイナー・アーティスト

1979年東京都生まれ。文化女子大学短期大学部服飾学科卒業。95年に歌手デビュー。現在は、デザイナーとして多方面で制作活動を行う。2020年、アートディレクターの夫、池澤樹氏とともに「STUDEO」を設立、22年、デザインを手がけた革きものがニューヨークADC賞の2部門で受賞を果たし、大きな話題に。

音 楽 × 正倉院楽器

さまざまな録音技術と音楽的な展開を掛け合わせて、
1300年前の楽器の音を今に響かせます。



亀田誠治さん
(かめだ・せいじ)
音楽プロデューサー
ベーシスト

1964年アメリカ・ニューヨーク生まれ。GLAY、椎名林檎、スピッツ、平井堅、いきものがかりほか多くのアーティストのプロデュースやアレンジを手がける。2007年、15年の日本レコード大賞にて編曲賞、21年の映画「糸」で日本アカデミー賞優秀音楽賞を受賞。2019年よりジャンルを超えて音楽体験ができるフリーイベント「日比谷音楽祭」の実行委員長を務めるなど様々な形で音楽の魅力を伝えている。

写 真 × 正倉院正倉

1300年前の巨大な木造建築を現代写真家の視点で切りとります。



瀧本幹也さん
(たきもと・みきや)
写真家

1974年愛知県生まれ。ポートレート、静物など、様々な被写体と向き合う中培われた経験と技術のもと、独自の視点で捉えた作品は国内外で高い評価を得る。代表作に、『LUMIÈRE』、『PRIÈRE』、『LAND SPACE』などがあり、是枝裕和監督の映画「そして父になる」、『海街diary』、Netflixシリーズ『阿修羅のごとく』では撮影監督を務める。

陶 芸 × 文 様 美

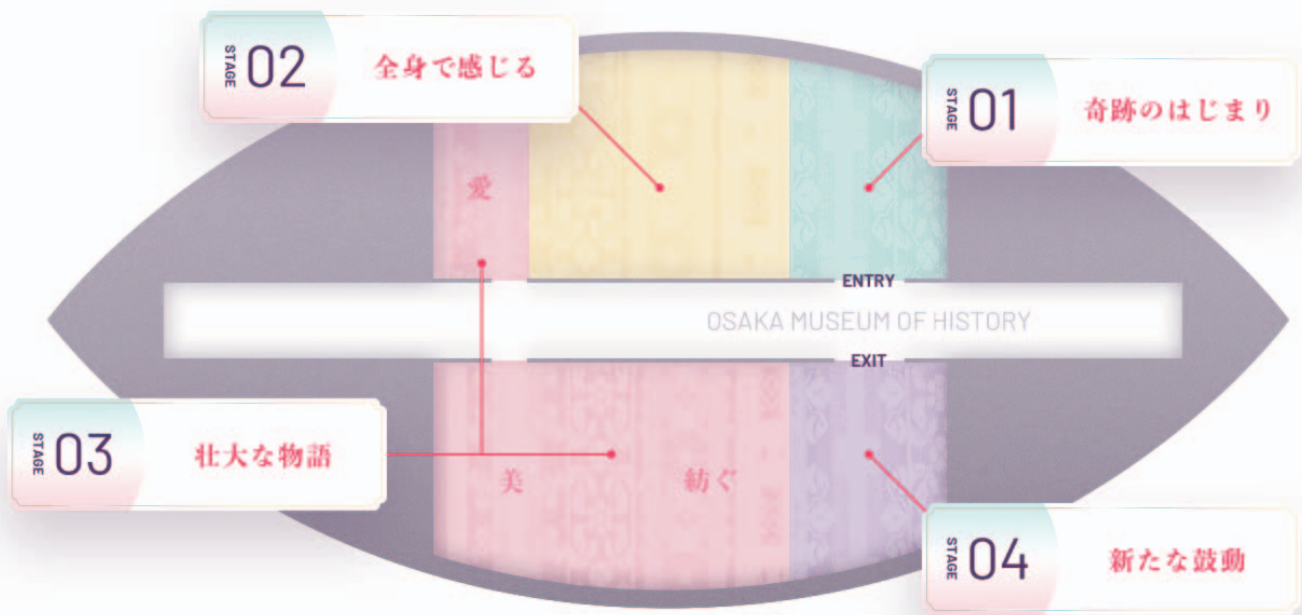
高度なデザイン力、技術の結晶といえる宝物の文様美を昇華させ、
新たな陶芸作品を生み出します。



亀江道子さん
(かめえ・みちこ)
陶芸家・絵付師

1978年神奈川県生まれ。京都伝統工芸専門学校に学び、卒業後はヨーロッパ、アジア各地に移住し、細密画の腕を磨く。精緻な描線と色遣いにこだわる京薩摩焼の技法を用い、自然の花々を緻密に表現する作品を制作する。日本橋高島屋での個展をはじめとして、銀座高島屋書店やAsia Hotel Art Fair HongKong、KOGEI Art Fair Kanazawaなどの企画展やアートフェアに参加。Paperblanksのカバーデザインなども手がける。

展示プラン



STAGE 01 奇跡のはじまり

宝物誕生の背景にある聖武天皇と光明皇后とのエピソードを紹介。「正倉院という物語」に踏み出していただきます。

STAGE 03 壮大な物語

「愛 美 紡ぐ」の3つをテーマに、「正倉院という物語」を展開していきます。グラフィックのほか映像や再現模造の展示により、物語を掘り下げます。

STAGE 02 全身で感じる

「再現模造」を映像・音楽・照明と組み合わせ、新しい形で展示します。大型スクリーンでは3Dデジタルデータを活用した映像で、細部に至るまでの宝物の美を存分にご紹介します。

STAGE 04 新たな鼓動

正倉院や宝物の美、音色などからインスピレーションを受け、現代アーティストが新たに創造した服飾品、工芸品、楽曲、写真作品などを紹介します。

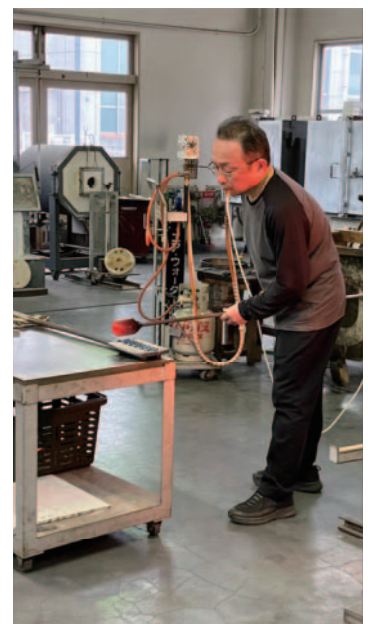
るりのつき

「瑠璃坏」レプリカ製作中!

正倉院には1300年前のガラスが美しい姿のまま伝わっていますが、その産地や製法など解明されていないことが数多くあります。近年、正倉院事務所では初となるガラスの再現模造[3頁参照]に取り組み、ガラス工芸家の迫田岳臣氏が「瑠璃魚形」「瑠璃小尺」の製作を手がけました。このたび「正倉院 THE SHOW」実行委員会は、青色のガラス「瑠璃坏」のレプリカ作りを企画し、迫田氏に依頼。銀の脚部分の製作を担当する金属造形家の田中均氏との合作になります。現在、鋭意製作が進んでいます。本展でのお披露目をお楽しみに!



正倉院宝物 瑠璃坏
(るりのつき)



開催概要

展覧会名：特別展「正倉院 THE SHOW ー感じる。いま、ここにある奇跡ー」

会場：大阪歴史博物館（大阪市中央区）

会期：2025年6月14日（土）～8月24日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

休館日：毎週火曜日（ただし、8月12日〔火〕は開館）

主催：大阪歴史博物館、「正倉院 THE SHOW」実行委員会
（読売テレビ、読売新聞社、TOPPAN、角川メディアハウス）

監修：宮内庁正倉院事務所

後援：公益財団法人大阪観光局

観覧料	当日（団体）	前売
大人	2,000円（1,800円）	1,800円
高校生・大学生	1,500円（1,300円）	1,300円
小学生・中学生	1,000円（800円）	800円

※団体は20名以上。

※未就学児、障がい者手帳等をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料。

※大学生・高校生・中学生の方は学生証をご提示ください。

※大阪市内在住の65歳以上の方も有料です。

※スマートフォンで視聴できる音声ガイドコンテンツを含む金額です。

早割ペアチケット発売!!

2月20日から大阪会場の早割ペアチケットを販売します。

観覧券大人2枚のお得なセット券です。2名でご来場の場合も、1名で2回ご来場の場合もご利用いただけます。

当日券大人を2枚購入するより1,000円もお得です!

料金：3,000円

販売期間：2025年2月20日（木）～6月13日（金）

販売場所：イープラス [https://eplus.jp/shosoin-the-show/]

ローソン [https://l-tike.com/shosoin-the-show/] [L:56297]

楽天トラベル観光体験 [https://experiences.travel.rakuten.co.jp/experiences/56045]

Rakuten Travel Experiences [https://experiences.travel.rakuten.com/experiences/56045] (2/28～)

※前売券は4月中旬に発売予定。グッズ付きなど

企画チケットの販売も予定しています。

詳細は決まり次第、公式ウェブサイト等で発表します。

模造 螺鈿箱（らでんのはこ）

※本展は2025年9月20日（土）～11月9日（日）にかけ、上野の森美術館（東京都台東区）に巡回します。

公式ウェブサイト: <https://shosoin-the-show.jp>



<https://x.com/THESHOW1814315>



<https://www.instagram.com/syousouintheshow/>



※展示内容、会期等は、今後の諸事情により変更する場合があります。詳細は公式ウェブサイト等でご確認ください。

報道関係お問合せ

「正倉院 THE SHOW」広報事務局（株式会社OHANA内）

Email: shosoin-the-show@ohanapr.co.jp TEL:03-6869-7881 FAX:03-6869-7801

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-6 リそな九段ビル5F

